

報道機関のみなさまへ

取材のお願い



あのときの感謝の想いを伝えたい

コープこうべ震災20年特別企画実施

コープこうべは、阪神・淡路大震災から20年の節目となる1月17日を前に、今も復興のさなかにある東北への想いを込めて、特別企画を実施いたしますのでお知らせします。

阪神・淡路大震災当時、コープこうべは全国85の生協からのべ9,258人の職員派遣を受けました。そのなかで、みやぎ生協はのべ452人の職員を派遣し、店舗の復旧作業などを支援してくれました。その恩返しを、との思いもあり、2011年の東日本大震災以来、職員派遣、ボランティア、復興につながる商品供給などを通して連携を強めてきました。

企画名は「心をつなぐ熱いエール」。塩害に強いと言われる蕎麦に着目し、「津波で被害を受けた宮城県亘理を新しいそばの産地に」との思いで、「※食のみやぎ復興ネットワーク」に参画するJA全農みやぎ、みやぎ生協などが開発した『復興亘理そば』や、東日本大震災で工場が全壊し、2013年ようやく新工場が完成、生産を軌道にのせるため現在も奮闘中の石巻産の『金華そば味噌煮缶』をおすすめします。他には『かもめの玉子』や『サバだしラーメン』などを展開します。

この企画は、シーア（神戸市東灘区住吉本町1-2-1 JR神戸線住吉駅下車北へすぐ）を始め、コープこうべの94店舗で16日（金）から18日（日）まで実施します。

1月16日（金）10:00～12:00 広報担当がシーア売場に待機します。

東北への想いを込めた特設売場を、ぜひご取材、ご紹介ください。

※【参考】みやぎ生活協同組合

本部 宮城県仙台市。宮城県全域を事業エリアとし、組合員は約67万7千人。2013年度の事業高は約1022億円。店舗数は46。事業連合『コープ東北サンネット』に加盟する。

東日本大震災では、14の店舗が大きな被害を受け、16人の職員が津波の犠牲となる。



企画イメージ（折り込みチラシより）

※食のみやぎ復興ネットワーク

東日本大震災により多大な被害を受けた食品関連業者が、互いに励まし合いながら地域復興をめざす目的で2011年7月に設立。参画企業235。

■お問い合わせ コープこうべ広報室 南 紀行 電話078-856-1078

生活協同組合コープこうべ 広報室

組合長理事：本田 英一 組合員数：168.3万人（11月末現在）2013年度供給高2,416億円
〒658-8555 神戸市東灘区住吉本町1丁目3-19 TEL. 078-856-1078 FAX. 078-856-1239